



12月8日(火)

## 不確かなときにこそ確信を

聖書朗読 ルツ 1:10~22

滅びに至らせる友人たちもあれば、兄弟よりも親密な者もいる。 箴言 18:24

ナオミには、期待できるものなど何ひとつありませんでした。飢饉によって、すべてを失い(1節)、夫と息子たちも死によって奪い取られたのです(2~3節)。

けれども、ナオミには、揺るぎない家族と、固い絆で結ばれた友がありました。ナオミが夫と二人の息子を亡くした後も、ルツはナオミにとって固い絆で結ばれた友であり続けました。ルツは、義母に無条件の愛を示す、模範となるような者でした。真の友には耐え忍ぶ力があり、ルツこそそのような真の友であったのです。家族によって、失意のうちにあったナオミが気力を取り戻し、霊的にも肉体的にも回復することができたのです。

友がひとりも居ないのは、深刻な貧困である」と言った人がいますが、トーマス・ヒューズは、友情の中心である自己犠牲を人々に促し、こう書いています。

*友を作る賜物を与えられた人は幸いである  
それは、神から与えられた素晴らしい賜物の一つだから  
それに伴って他にも多くのものが与えられるが、何より素晴らしいのは、  
我が身を忘れ、尊いものを見極め、  
互いに愛する力が与えられることである。*

イエス様は、憐れみの心を持って他者に理解をお示しになりながら生きておられました。それこそ友情に求められるものです。イエス様は弟子らの傍らにおられ、彼らを赦し、理解を示され、導かれ、そして、愛を示されました。イエス様は、私たちの友です。誰かの友となる時、イエス様の憐れみの心を思い出しましょう。

讃美歌 312

祈り 主よ、不確かなときに確信をもってあなた様を見上げることができるよう助けてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 テレル  
エドワード・J・ロビンソン

12月9日(水)

## 神に聞く

聖書朗読 Iサムエル 3:1~10, 19

お話しください。しもべは聞いております。

Iサムエル 3:10

神は、様々なときに様々な形で、私たちに語りかけられます。エリはサムエルに、自分が聞いていることを神に申し上げるようにと言いますが、その前に、神はサムエルを3度呼んでおられます。I列王記19章では、神は激しい大風と地震と火によって、エリヤにご自身を現されます。神は、そのご意志にかなった時に、エリヤに優しくささやかれました。

詩篇19篇では、自然を通して、神は私たちに語っておられます。『天は神の栄光を語り告げ、大空は御手のわざを告げ知らせる』。夜空を眺め、海の音を聞き、山の頂を見るとき、そのすべてに神のご臨在を感じ取ることができます。

詩篇19篇はさらに、神がご意志をはっきりと現されることによって語られることも述べられています。私たちは、人生のあらゆる状況において、神のみことばのうちに、何が語られているのかを悟られます。

今日、神は信頼する友や、伝道者や助言をしてくれる人々を通して、私たちに語りかけておられます。人生で特別な状況に置かれたとき、例えば、深刻な病、離婚、失業といった困難に直面したときに、語りかけてくださいます。

私たちははたかく、聞くべき時について口を開いてしまうものではないでしょうか。神は、二つの耳と一つの口を与えてくださっています。つまり、語ることの二倍、耳を傾けよということでしょう。

讃美歌 第二編 154

祈り 親愛なる神よ。人生のあらゆる場であなた様の御声をお聞かせください。あなた様こそ神であることを知ることが出来るようにしてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 ナッシュビル  
ケン・スコット

12月10日(木)

## 心乱された生き方の危険

聖書朗読 Iサムエル 17:16~30

私たちの格闘は血肉に対するものではなく・・・

エペソ 6:12

運転中に気をそらすことは大変危険です。道路には運転中にメールをしないよう促す看板や広告が多く見られます。事故は、ドライバーが気をそらした瞬間に起こるものです。

心乱された生き方も、同じように危険なものではないでしょうか。Iサムエル17章で、ダビデは、イスラエルの民に戦いを挑んでくるゴリアテを前にします。その時ダビデは周りの人たちに問いをしますが、その後、彼の心を乱そうとするのはその巨人ではなく、兄だったのです。

エリアブは、ダビデがやって来た訳を聞き、蔑むように「あのわずかな羊はどうするのかわ」と問い、ダビデのやって来た動機がうぬぼれからのものであるとたしなめます。けれどもダビデは、その罠に陥ることなく、本当の敵が誰であるかを知っており、自分は誰にもくじかれまいとしました。

私たちの人生も、心乱される事が多くあるのではないのでしょうか。例えば、たいして重要でもないメールに気を取られて、大切な会話に注意散漫になってしまったり、家族でも仕事を理由に、子供たちから目を逸らしてしまうこともあるでしょう。教会でも、私用があるからと、教会の仲間との一致から遠のいてしまうこともあるでしょう。

あなたの日々の歩みをよく考えてみてください。本当の敵は何でしょうか。何によって心乱されているでしょう。心乱された生き方はとても危険ですが、神を信頼するという焦点の定まった生き方は、巨人をも倒すことが出来るのです。

讚美歌 第二編 155

祈り 天のお父様。私たちが中心とすべきものから目を逸らさず生きることが出来るようにしてください。何が真に重要であるかを判断しつつ日々歩み、また、あなた様に仕えるときに、心を乱すものを避けることが出来るようにしてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 コロンビア  
アンドリュー・フィリップス

12月11日(金)

## 神の偉大なる御姿に目を向けて

聖書朗読 I列王記 21:1~15

御霊による思いは、いのちと平安です。

ローマ 8:6

あるスーパーの駐車場で、自分の駐車スペースが取られたと、そのスペースを奪ったドライバーを激しく怒鳴りつけた女性についての記事がありました。ご存知でしょうか。そのような出来事を聞くと、「この世はどこへ向かっているのだろう」と嘆かれるかもしれません。

あなたにも、苛立ったり、一日を台無しにしてしまうほど、酷く腹を立てたりする事はありますか。けれども、それはそこまで気にしたり、ネガティブな感情を持ったりするほどのことでしょうか。恐らくそうではないでしょう。

アハブは、イスラエルの王となったことに伴うあらゆる権力と栄華を手にも関わらず、ナボテがぶどう畑を売らないと言うので、食事もしないほど心穏やかでなくなりました。アハブには、ぶどう畑は十分あったはずなのですが、もうひとつ畑を手に入れようと考えたのです。こうした彼の些細な事への執着から、イゼベルとともに卑劣な計画を企て、ナボテを抹殺してしまうこととなるのです。

クリスチャンは、神がすべてを支配しておられるという視点で将来を見据え、『神を愛する人々・・・のためには、・・・すべてのことを働かせて益としてくださる。』(ローマ8:28)ということを知っています。神の平安は、こうした姿勢で日々歩むことによって、与えられるものです。神は、いつまでも私たちとともにおられます。日々の問題は、過ぎ去って行きますが、神の支配とご契約は永遠のものなのです。

讚美歌 第二編 167

祈り 親愛なる神なる父よ。あなた様に愛されているという偉大な恵みにいつも思いを向けさせてください。あなた様こそ、私たちの守り主、救い主であられることを知ることにより、平安を得させてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 ナッシュビル  
ケヴィン・B・レイチェル

12月12日(土)

## 一人が発揮する力

聖書朗読 ネヘミア 5:1~13

私たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものです。 エペソ 6:12

ユダヤの主だった人たちや代表者たちが、負債や税金も支払えないほど貧しい人たちの畑やぶどう園、オリーブ畑、そして家までも奪っていることを知ったネヘミヤは、政治的指導者らと呼んで、高利で貸付けを行い厳しく取り立てていることについて彼らを非難しました。ネヘミヤは、熱い情熱を持って、彼らが奪ったものを元通りにするよう説得します。ネヘミヤただ一人でこの件に当たりますが、多くの弱い人々の命を救うこととなりました。

昨晚私は、仲間の伝道師と、カンボジアのシエムリアップで行われた心動かされる学びとチェロコンサートに参加しました。解説者は、音楽家のビート・リヒナー氏というスイス人医師であり、美しいけれど苦境にあるこの国の貧しい子供たちの命を救うために自らを捧げてきた方でした。ほぼ独力で寄付金を集め、カンタボバに5つの病院を立ち上げ、そこでは、貧しいクメールの子供たちが質の高い医療ケアを無償で受けることができます。リヒナー医師と、クメール人医師、看護師を含めた2500人のスタッフにより、この20年の間に、何百万もの命が救われたと言われています。リヒナー医師もネヘミヤと同じように、弱者を助けるにあたり、要職にある人々の酷い慣行に直面してきたようです。

気高い目的に熱い情熱を注ぐとき、一人の人が発揮するその力の強さに驚かされません。神の助けにより、私たちもこの世を変えることが出来るのです。

讃美歌 第二編 27

祈り 全能なる神様、私たちを用いて、純真で無力な、自らを守ることさえできない人々に恵みをお与えください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

オレゴン州 グレシヤム  
リチャード・N・ADY

12月13日(日)

## みことばを読む

聖書朗読 ネヘミア 8:1~8

幼いころから聖書に親しんで来たことを知っているからです。聖書はあなたに知恵を与えてキリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることができますのす。

Ⅱテモテ 3:15

学者エズラたちが律法の書から語ることばを聞こうと、民はみな一斉に広場に集まりました。彼らは、その町にちょうど居合わせた人々なのか、地方から出てきた人々もいたのか分かりませんが、驚かされるのは、エズラが律法の書から語ることばを、彼らが熱心に求めていたということです。

このことは、使徒パウロがコルネリオを訪れた時のことを彷彿とさせます。コルネリオはペテロにこう言います。『私たちは、主があなたにお命じになったすべてのことを伺おうとして、みな神の御前に出ております。』(使徒10:33)。彼らは、神のみことばを語る者に熱心に耳を傾け、それに従おうとする姿勢だったのです。

神のみことばは、私たちが奮い立たせ、霊的に強めてくださるものであり、私たちの魂の糧、日々必要な糧です。神の導きに心を留めるとき、神の尊いみことばをいただくことができます。

エズラが律法の書を開いたとき、民はみな立ち上がって神を称え、エズラの祝福の後、みな「アーメン」と応え、地にひれ伏して主を拝しました。そのように畏敬の念をもって神のみことばを頂くとき、恵みを頂くことができます。皆で「アーメン」と言いましょう。

讃美歌 501

祈り 親愛なる主よ。あなたのみことばを求めさせてください。そして、私たちに強め、あなたのみことばをただ聞くだけでなく、実行する者としてください。あなたのみことばを私たちの導きとし、歩むべき道の灯としてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

アーカンソー州 ファイエットヴィル  
コット・ゲージ